

平成 27 年 1 月 16 日

平成 26 年度「拡大医療改革委員会」兼「産婦人科医療改革 公開フォーラム」

議事次第

公益社団法人 日本産科婦人科学会
医療改革委員会委員長 海野信也

- 1) **主催**：公益社団法人日本産科婦人科学会・平成 26 年度厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）「持続可能な周産期医療体制の構築のための研究」（研究代表者：海野信也）
- 2) **場所**：ステーションコンファレンス東京 501A+B
- 3) **日時**：2015 年 1 月 25 日（日曜）13 時から 16 時 30 分（予定）
- 4) **テーマ**「産婦人科医療改革グランドデザイン 2015（GD2015）の策定に向けて」

（ア）開催の目的：日本産科婦人科学会では、2010 年に「産婦人科医療改革グランドデザイン 2010（GD2010）」を策定、公表いたしました。その際、5 年後に再評価し、改定を行うこととしておりました。その後の 5 年間の経過は産婦人科医療現場にとって大変厳しいものであり、GD2010 が目指した方向性からはかなりはずれてしまっていると考えられます。今回の拡大医療改革委員会では、策定から 5 年が経過した GD2010 の再評価を行い、現状の課題を整理するとともに、改定案としての GD2015 案についての検討を行いたいと考えております。

平成 27 年度に厚生労働省の周産期医療体制整備指針の改定に向けての検討が、開始が予定されています。この機会に、厚生労働省特別研究班のメンバーとともに、わが国の周産期医療体制の課題、検討が必要な論点の整理を行います。

5) **議事次第**：

（ア）司会者：

- ① 高倉 聡（獨協医科大学越谷病院・産婦人科）
- ② 浅川恭行（日本産婦人科医会幹事・浅川産婦人科）

（イ）挨拶：13:00

- ① 日本産科婦人科学会理事長 小西郁生
- ② 厚生労働省医政局地域医療計画課救急周産期医療等対策室 西嶋康浩 室長

（ウ）第 1 部：13:10-14:20：基調報告・班研究からの報告

- ① 「産婦人科の動向と勤務医就労環境」：日本産婦人科医会常務理事 中井章人

- ② 「産婦人科医療改革グランドデザイン2015案について」:医療改革委員会 海野信也
- ③ 「総合診療専門医の周産期医療への貢献：概念から実践へ」: 研究班 鳴本敬一郎（浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座）
- ④ 「新生児医療の人的供給体制の脆弱性」: 研究班 楠田聡（東京女子医科大学 母子総合医療センター新生児科）
- ⑤ 質疑応答

(エ) 第2部：各地域からの報告：14:20-15:30

- ① 「山口県一若手医師が勤務環境に望むこと」 山口県済生会 下関総合病院 菊田恭子
- ② 「四国における産婦人科の現状」: 徳島大学 桑原章
- ③ 「関東連合産科婦人科学会地域活性化委員会の取り組み：第2報」: 関東連合産科婦人科学会地域活性化委員会委員長 平田修司
- ④ 質疑応答

(オ) 第3部：総合討論：15:30-16:30

6) 備考

- (ア) 本拡大委員会は、公開フォーラムとして開催する。
- (イ) 報道関係者ならびに一般の方の傍聴および討論への参加を歓迎する。
- (ウ) 本拡大委員会の記録は、動画形式で、ホームページ「周産期医療の広場」に掲載し公開する。

以上